

# 北信濃里山通信 vol.22

2015年10月28日発行

## 巻頭言 「ブナ林と田んぼの米づくり」

事務局長 福本匡志

飯山地方は、良質な「おいしい米」の産地としても知られ、米の食味コンクールでも上位入賞例が多くあるほどの優れた「米どころ」だ。

先日、「なべくら高原・森の家」に事務局がある田んぼのオーナー制度「蛍の宿を守る会」の稲刈り作業に参加させていただいた（右の写真）。この会は、特に都会の一般の人向けに「森の家」近くにある田んぼのオーナーになってもらい、この地区の蛍を復活させるべく自然環境に配慮した米作りを体験していただくものだが、都会からの会員・参加者はこの地方の田んぼの自然のほか、そこで取れるお米の質・おいしさにも関心が高いようだ。



飯山地方の米は豊富な雪解け水を利用して作られる。水田の背景には関田山脈など奥山に広がるブナの森林があり、保水力のあるブナ林は雪解け水をたっぷりと貯え、広大な里の田んぼに豊かな水をもたらす。

「ブナ1本で1反分（10a）の田をうるおす」などとも言われているようだが、ブナ林は飯山地方の米作りにもなくてはならないものだ。

また、ブナの落ち葉が堆積した層から染み出した水には、無機養分のミネラルも多く含まれると考えられ、田んぼの稲に供給される。

最近の研究では、玄米に含まれるミネラルバランスが米の食味「おいしさ」に影響しているともいう。ミネラルのマグネシウム／カリウムの比率が高い米ほど、おいしくなる傾向にあるらしい。

米の評価の高い新潟県魚沼地方もブナ林を背景にした飯山と似たような環境条件のようだが、お米のおいしさとブナ林の関係などが解明されれば、ブナ林の新たな価値が見直されるのではないかと思うところだ。

## お知らせなど

### ・「2015 カヤ刈りワーキング」

飯山市戸狩地区では、オオルリシジミの放蝶による生息域外保全を進めているところですが、放蝶地の環境維持と草地資源活用を図るため昨年に引き続き本年もススキの採取「カヤ刈り」を行います。

昨年採取したカヤは、かやぶき屋根の業者「小谷屋根」に買い取っていただき、諸経費を差し引くと36,000円になりました。このお金は当会の会計に入金し、活動資金に充てたいと思います。

また、買い取られたカヤは飯山市瑞穂にある「北竜湖資料館（北竜湖畔にある郷土玩具や民具類を見ることができる資料館）」のかやぶき屋根の修復に使われました。北竜湖資料館では、今後も継続的に修復を予定しているようで、カヤを必要としているようです。

かやぶき屋根の修復に是非とも地元のカヤを使っていただこうではありませんか！

本年の「カヤ刈り」は以下のとおり行います。作業には人手がかかりますので、多くの方に御参加いただきますようお願いいたします。会員のみならず、一般の方も歓迎です。参加者には慰労として、「戸狩温泉利用券」を進呈します。また、当日は「小谷屋根」の職人さんにもお越しいただき、刈り取り作業の指導やカヤの利用などについてもお話しいただきます。

#### 日時及び集合場所（作業場所）

日時 平成27年11月14日（土）9:30～15:00（9:00～集合・受付）

集合場所 戸狩温泉「暁の湯」駐車場（9:00集合、その後作業場所に移動）

作業場所 飯山市戸狩スキー場・とんだいらグレンデ（グレンデ脇のススキ自生地で作業）

#### 日程

- 9:00 集合（「暁の湯」駐車場）、受付
- 9:30 開会・日程説明など
- 9:35 カヤとその利用についてのおはなし
- 9:45 作業説明、作業班分け（刈り取り、選別、結束、運び出しなど分担）
- 9:50 午前作業開始
- 12:00 午前作業終了、昼食
- 13:00 午後作業開始
- 14:50 午後作業終了、収穫したカヤの講評など
- 15:00 閉会、カヤを「北竜館」、または「外様活性化センター」へ搬入。

#### 参加申し込み

飯山市教育委員会学習支援課（当会事務局・TEL：0269-62-3342）へ、11月9日（月）までに連絡してください。

#### その他

作業に適した靴・服装で参加してください。刈り取りは鎌による手刈りですが、慣れない方には選別や結束などを行っていただきます。昼食は各自で用意してください。副食に「豚汁」を用意します。中止すべきような悪天候が予想される場合は、前日夕方までに連絡します。



当会で採取したカヤにより「かやぶき屋根」を修復中の北竜湖資料館

## ・鍋倉山茶屋池周辺での「ブナの実拾い」

本年総会で井田会長から「信州大学ブナの実活用プロジェクト」についてお話がありましたが、「ブナの実ようかん」の製品化など現在もプロジェクトは進行中です。

そこで、材料となる「ブナの実」の収集を以下のとおり行います。

**日時** 11月3日（火）文化の日  
13:30～16:00くらいまで

**場所** 飯山市鍋倉山茶屋池ハウス  
(県道95号関田峠の手前)に集合。その周辺で「ブナの実拾い」を行います。

当日は長野県シニア大学のおばちゃん達、信州大から若い学生達も参加予定です。にぎやかに老若男女で楽しく、ブナの実拾いをできればと思っています。

申し込み不要、現地に適宜、集合・解散です。作業に適した服装で、御都合の良い時間におこし下さい。

10月6日に茶屋池周辺でブナ林散策をしてきた会員の花崎さんによると、今年はブナの実が大豊作で、車道脇でも右の写真のようにたくさん落ちていて、訪れた人が次々ひろっては歓声を上げていたとのことです。

今回はブナの実が大量に取れることが見込まれるので、取りだめをして計画的に加工製造し、いずれは当会ブランドで販売したいと考えています。

ちなみに鍋倉山は国有林のため、「ブナの実収集」はきちんと森林管理署に許可を取り、代金もかかります。ブナの実は1キロ1000円で(高い!)、10キロ分を既に支払っており、最低でもその分は取りたいと思いますので、御協力ください。



紅葉の茶屋池周辺(会員の花崎さんより)



道路脇に落ちたブナの実(花崎さんより)

## ・オオルリシジミ生息地の環境整備

オオルリシジミ生息地の環境整備を以下のとおり行います。監視カメラや看板、保護区設営のロープなどは会員の三井さん、矢内さんに撤収していただきましたが、生息地全般に雑草木が繁茂している状態で、刈り払いが必要です。また、生息地のススキ・カヤについても活用したいと考えていますので、カヤ刈りと運搬道の整備も併せて行いたいと思います。

**日時** 平成27年11月8日（日）及び11月23日（月・祝）9:00～15:00

**集合場所** 9:00に飯山市公民館前とします。  
途中から参加される場合は、現地へ直接お越しください。

**作業内容** 刈り払いによる歩道の整備、灌木類の伐採作業による草原環境維持  
カヤの採取・・・など

**その他** 昼食は各自で用意いただき、作業に適した服装でお越しください。  
天候不良の場合は、中止とします。

## 活動報告など

### ・オオルリシジミの観察会とクララの植栽

6月7日に、試行的にオオルリシジミの生息域外保全行っている戸狩地区で親子観察会を実施しました。市内外から子供たちも含め約40名が参加、「望の湯」駐車場から徒歩で現地に向かい、途中で食草・クララの植栽を行いました。（右の写真）。

放蝶地の観察場所では参加者がオオルリシジミのモニタリング調査を実施、当日は好天に恵まれ、一人当たり平均で5～6頭を観察することができました。放蝶から3年目、これまで放した個体からの自然発生が考えられる発生量でした。下は観察会での集合写真。



6月21日の飯山生息地での観察会は残念ながら雨で中止。

当地のオオルリシジミは6月13日に4頭を観察しましたが、以後は確認されませんでした。成虫の発生は低調であったようですが、7月5日には幼虫を確認しています。



### ・「人と生きものをつながり創生全国フォーラム」への参加

9月19日、木曽町の木曽文化公園・文化ホールで「人と生きものをつながり創生全国フォーラム」が開催されました。

生物多様性の保全活動に取り組む市民団体や企業の連携体制の整備を図るもので、当会からも井田会長や事務局の福本が参加しました。基調講演やパネルディスカッションのほか、「環境保全に取り組む市民大集合」が行われ、約30団体からのポスター展示や「1分間スピーチ」による活動紹介がありました。右の写真は井田会長による当会の紹介。他団体の活動の様子を知りながら、交流が深められる有意義な場であったと思います。



## 編集後記

10月18日に行われた黒岩山保全協議会の環境整備に参加。その日は「ワーキングホリデー」で保全協の会員ほか、都会の一般の方々と一緒にギフチョウの観察ポイントになっている林床の伐採作業を行いました。作業の合間にムキタケ、クリタケなどのキノコをたくさん収穫し、きのこ鍋でおいしくいただきました。そんな「ご褒美」が見込める活動にしていきたいとあらためて実感。「ブナの実拾い」、「カヤ刈り」も然り、御参加よろしくお願ひします。

発行者：北信濃の里山を保全活用する会 会長 井田秀行  
事務局：〒389-2253 飯山市大字飯山1 4 3 6 - 1  
飯山市公民館内  
TEL：0269-62-3342 FAX：0269-62-5940  
E-mail：kouminkan@city.iiyama.nagano.jp  
編集者・事務局長：福本匡志